

核融合科学研究所敷地内における火災の発生について（お詫び）

核融合科学研究所長 竹入康彦

このたび、当研究所の敷地内で火災が発生したことにより、地元市民の皆様及び関係の皆様に対して、多大なるご迷惑とご心配をおかけしましたことを、深くお詫び申し上げます。

火災の原因につきましては、現在、関係機関により調査中ですが、事故原因が判明次第、研究所といたしましても、関係機関のご指導を仰ぎつつ、適切な対策を講じて参ります。

火災は、平成27年8月4日（火）15時10分ごろ、大型ヘリカル実験棟ヘリウム液化機室において、業者による点検作業中に発生しました。

早速、消防署に通報し、消防署による消火及び救助活動の結果、同日の16時20分に鎮火しました。

しかしながら、点検作業を行っていた作業員のうち、1名の方が首にけがを負い、1名の方が心肺停止により病院に救急搬送され、その後、死亡が確認されました。

亡くなられた方のご冥福をお祈り申し上げますとともに、ご遺族に対し心よりお悔やみ申し上げます。

研究所としましては、安全管理を更に徹底し、再発防止に全力を尽くす所存でございます。